



第五次総合計画の 重要事業計画書について

吉野 高史 議員

質問 赤生田地区内に高さ約7mの盛土がそのままになっているが、良好な環境の形成・保全による安全安心なまちと言えるのか。

答 現状では新たな造成工事もなく、当初の計画通りに進んでいないため、今後も事業者の動きや現地の状況を注視していきます。

質問 新しい清掃センターでのごみ処理費用は約10億円と、以前の施設に比べて約2億円増えています。「子どもたちの給食費を無料にするため2割ごみを減らす」というキャッチフレーズをつくり、ごみの減量化を進めてはどうか。

答 館林衛生施設組合と連携しながら、ごみそのものを減らす発生抑制の取組を強化していきます。

質問 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちについて、どう取り組んでいるのか。

答 出前講座等での防災講話や、市防災訓練において住民参加型の実践的な訓練を行うほか、区長を中心に各地区での防犯パトロール等を実施しています。

質問 無料相談会は空家対策として有効な手段であると考えます。先進地事例を参考に関係機関等と連携強化を図りながら開催について検討したいと考えます。

答 無料相談会は空家対策として有効な手段であると考えます。先進地事例を参考に関係機関等と連携強化を図りながら開催について検討したいと考えます。

質問 高齢者が健康で生きがいを持って自立し、健康寿命を延ばすためには、適度な運動とバランスのとれた食事が必要だと思いが、今後、市民に対してどのような取組を進めるのか。

答 昨年度から健康寿命延伸プラットフォームを立ち上げ、本市の健康課題についての調査研究や市民への健康情報の発信を行っており、健康への取組を館林市民の文化として根づかせたいと考えています。



館林市公式ホームページと 大人の「ひきこもり」について

齊藤 晋一 議員

公式ホームページについて

質問 ホームページの現状と課題について伺います。

答 現在約1400件もの掲載記事があり、この膨大な情報を整理し、記事の整合性を図り情報の中身を管理するシステムが必要となります。来年度はウェブサーバーの耐用年数の一つ

の目安である5年を迎えることから、システムの変更、さらにはホームページのリニューアルについて検討していきたいと考えています。

質問 多様化するニーズに対応した今後のホームページの運営について伺います。

答 行政のホームページとして、タイムリーかつ多

質問 本市のひきこもりの現状について伺います。

答 本市では、ひきこもりの実態調査は行っていませんので、その数も把握していません。しかし、日常の相談業務において、確認しているケースもあります。

質問 相談や問い合わせが増えることが考えられます

が、対策について伺います。
答 一つの部署での対策では抜本的な解決に至ることは困難であるため、県のひきこもり支援センターのほか、教育や福祉、保健医療など、様々な関係機関と組織を超えた横断的な連携強化を図ることが適切かつ総合的な対策につながるものと考えています。

質問 ひきこもり支援体制を構築している自治体は

少なく、本市の大人のひきこもり問題が深刻な状況

になる前に、有効な支援体制を構築していただきたいと思いますが、考え方に

ついて伺います。

答 ひきこもりの早期発見や相談対応を充実するほか、各関係機関が実施している施策を組織的・横断的に結びつけていくことが必要となり、今後引きこもりの問題が更に深刻化する場合には、社会福祉課が中心となり、既存の組織を生かした協議会の設置を検討していきたいと考えています。